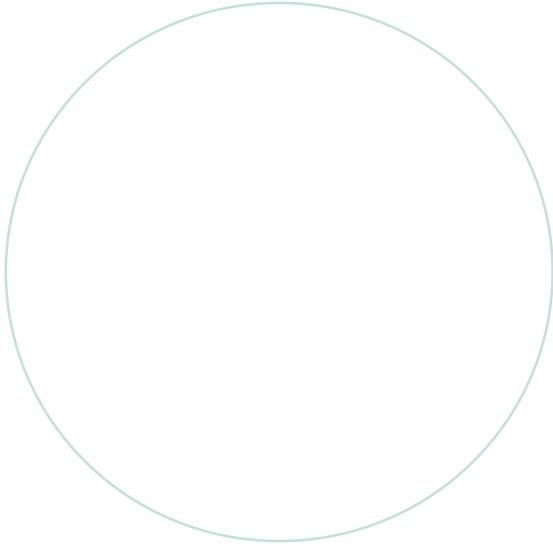





令和5年度自殺未遂者ケア研修  
「第1回一般救急版」



令和5年度自殺未遂者ケア研修  
「第1回一般救急版」  
開催日時:令和5年6月4日(日) 10:00~17:15



厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター 主催  
一般社団法人 日本臨床救急医学会 共催  
一般社団法人 日本精神科救急学会



## プログラム

- 司会： 大内 衆衛（厚生労働大臣指定法人・一般社団法人  
いのち支える自殺対策推進センター・自殺未遂者支援室長）
- 開場 9:15
  - 開会挨拶 清水 康之（厚生労働大臣指定法人・一般社団法人  
いのち支える自殺対策推進センター・代表理事） 10:00～10:10
  - 三宅 康史（一般社団法人日本臨床救急医学会「自殺企図者のケアに関する検討委員会」委員長）
  - 河西 千秋（一般社団法人日本精神科救急学会）
  - ◇ 講義 1 「自殺未遂者支援・ケアに関する施策と医療の動向」 10:10～11:50  
河西 千秋（札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授）
  - ◇ 講義 2 「一般救急医療における自殺未遂者への対応 ～基本的な理解と多職種による支援・つなぎ～」  
三宅 康史（帝京大学医学部附属病院 高度救命救急センター長・教授）
  - ◇ 講義 3 「もう一つの精神科救急：自死遺族対応」  
太刀川 弘和（筑波大学医学医療系臨床医学域 災害・地域精神医学・教授）
  - ◇ 講義 4 「自殺未遂者ケア・ガイドライン」  
大塚 耕太郎（岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授）
  - ◇ 講義 5 「エビデンスに基づく自殺未遂者医療：診療報酬項目“救急患者精神科継続支援料”」  
河西 千秋（札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授）
  - ◇ 質疑応答 11:50～12:00
  - ワークショップグループ分け・事前準備 12:00～12:15
  - 昼休憩 12:15～13:15
  - ワークショップ 演習：「自殺未遂者に対するケース・マネジメント」 13:15～16:45  
司会： 大塚 耕太郎（岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授）
  - 閉会挨拶 16:45～16:55  
清水 康之（厚生労働大臣指定法人・一般社団法人  
いのち支える自殺対策推進センター・代表理事）
  - アンケート 16:55～17:15
  - 閉会 17:15

ファシリテーター (五十音順)	高野 亜希子 日本医科大学付属病院、精神看護専門看護師
川島 義高 明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻・ 准教授、臨床心理士、公認心理師	太刀川 弘和 筑波大学医学医療系臨床医学域 災害・地域 精神医学・教授
川原 庸子 医療法人信愛会玉名病院、精神科医	松尾 真裕子 筑波大学附属病院精神医療・自殺対策連携セン ター、精神保健福祉士
佐々木 由里香 山梨県立中央病院患者支援センター、精神保健 福祉士	本堀 伸 医療法人信愛会玉名病院、精神保健福祉士
末永 卓也 産業医科大学病院患者サポートセンター、精神 保健福祉士	山中 毅 医療法人信愛会玉名病院、臨床心理士、公認 心理師

(敬称略)

### 清水 康之

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター・代表理事  
NHK ディレクターとして「クローズアップ現代」で自死遺児たちの番組を制作したのをきっかけに、自殺対策の重要性を認識。2004年にNHKを退局し、NPO法人自殺対策支援センターライフリンクを設立、代表に就任。2006年「自殺対策の法制化を求める3万人署名」を企画・展開し、自殺対策基本法制定に貢献した。2009年～2011年内閣府参与(自殺対策担当)、超党派「自殺対策を推進する議員の会(議連)」アドバイザーとして、2016年には自殺対策基本法の改正に関わる。共著に『「自殺社会」から「生き心地の良い社会へ』、『闇の中に光を見出す』など。

### 三宅 康史

帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長、帝京大学医学部・教授  
1985年東京医科歯科大学医学部卒業、医学博士、救急医学会指導医、脳神経外科指導医、集中治療専門医、外傷専門医、脳神経外傷指導医、日本臨床救急医学会「自殺未遂者のケアに関する委員会」委員長、日本救急医学会「熱中症に関する委員会」元委員長、「日本自殺予防学会」理事、「日本臨床医学リスクマネジメント学会」理事長、「日本交通科学学会」副会長。

### 河西 千秋

札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授、精神科医  
専門研究領域は、行動科学(精神薬理、自殺関連行動)、地域精神保健学(自殺対策、職域・大学キャンパスにおけるメンタルヘルス支援)。自殺対策のための戦略研究・ACTION-J 研究事務局長として、一般救急医療に搬送された自殺未遂者の自殺再企図防止方略を開発し診療報酬に収載された(救急患者精神科継続支援料)。専門職者の卒前卒後の自殺予防教育、神奈川県・北海道内の地域自殺対策の実践活動に従事し、省庁、全国地方公共団体、学術・職能団体の自殺対策活動にも関与している。日本自殺予防学会副理事長、日本うつ病学会理事、日本精神科救急学会代議員、北海道自殺対策アドバイザーなど。

### 大塚 耕太郎

岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授  
1997年岩手医科大学医学部卒業。2005年同科・講師、2012年同学部災害・地域精神医学講座・特命教授及び岩手県こころのケアセンター・副センター長、2016年より現職。  
日本精神科救急学会・理事、日本自殺予防学会・常務理事／事務局長、日本うつ病学会・理事等。専門領域は精神科救急、自殺対策、災害医療、地域精神保健など。

### 太刀川 弘和

筑波大学 医学医療系 臨床医学域 災害・地域精神医学・教授  
1993年筑波大学医学専門学群卒業。2002年筑波大学臨床医学系精神医学講師、2006年茨城県精神保健福祉センター係長、2007年茨城県立友部病院特任救急部長、2016年筑波大学保健管理センター所長を経て、2019年より現職。精神科医、産業医、公認心理士。日本自殺予防学会常務理事、全国大学メンタルヘルス学会理事、日本精神神経学会自殺対策委員会委員、日本うつ病学会評議員、茨城県自殺対策連絡協議会議長、つくば市自殺対策に関する連携会議議長。専門研究領域は、自殺予防、災害精神医療、青年期精神医学、精神科救急医療、地域精神保健。